

# 横浜市立市民病院が 横浜市乳がん連携病院に仲間入り！



～ 横浜市乳がん連携病院が5病院になりました！ ～

日本人女性の11人に1人は、一生のうちに乳がんと診断されると推計されています。特に1年間にがんと診断された女性のうち20歳から59歳までの方は、40%以上の方が乳がんになり患っています。そのため、身近な医療機関で治療を受けられるよう、市内での乳がん診療体制の充実が必要となっています。

横浜市では、平成29年度から市内の乳がん診療に実績のある病院を「横浜市乳がん連携病院」に指定しています。

## 令和2年2月1日、新たに横浜市立市民病院を 横浜市乳がん連携病院に指定しました。

横浜市乳がん連携病院（令和2年2月1日時点）

病 院 名
横浜市立大学附属病院
横浜市立大学附属市民総合医療センター
横浜労災病院
横浜市立みなと赤十字病院
<b>横浜市立市民病院</b>

← NEW !!

### 横浜市立市民病院

市民病院では新病院開院に伴い、50年以上にわたり培ってきたがん検診のノウハウと、がん診療連携拠点病院としての機能を活かし、新たな予防医療の取組を始めます。

また現在、厚生労働省から指定を受けた「がんゲノム医療連携病院」のひとつとしてゲノム医療にも力を入れる等、総合的ながん対策に取り組んでいます。

#### がんドック開始

部位別のがん検診や採血等の基本検査を組み合わせた、がん早期発見のためのがんドックを開始します。ドックを実施する予防医療センターでは、女性でも検査を受けやすいウエアや、広々とした更衣室も準備しています。



指定書交付の様子

## 横浜市乳がん連携病院とは・・・

横浜市内の乳がん診療に実績のある病院を「横浜市乳がん連携病院」に指定し、最新治療や患者支援で連携していくとともに、それぞれの病院が各地域の医療機関と連携することで、**横浜市内の乳がん診療体制を充実**させるための取組です。

乳がんは、家庭や職場で中心的な役割を担う世代で発症率が高く、患者さんは**仕事を続け、家庭を守りながら治療を進めなくてはなりません**。

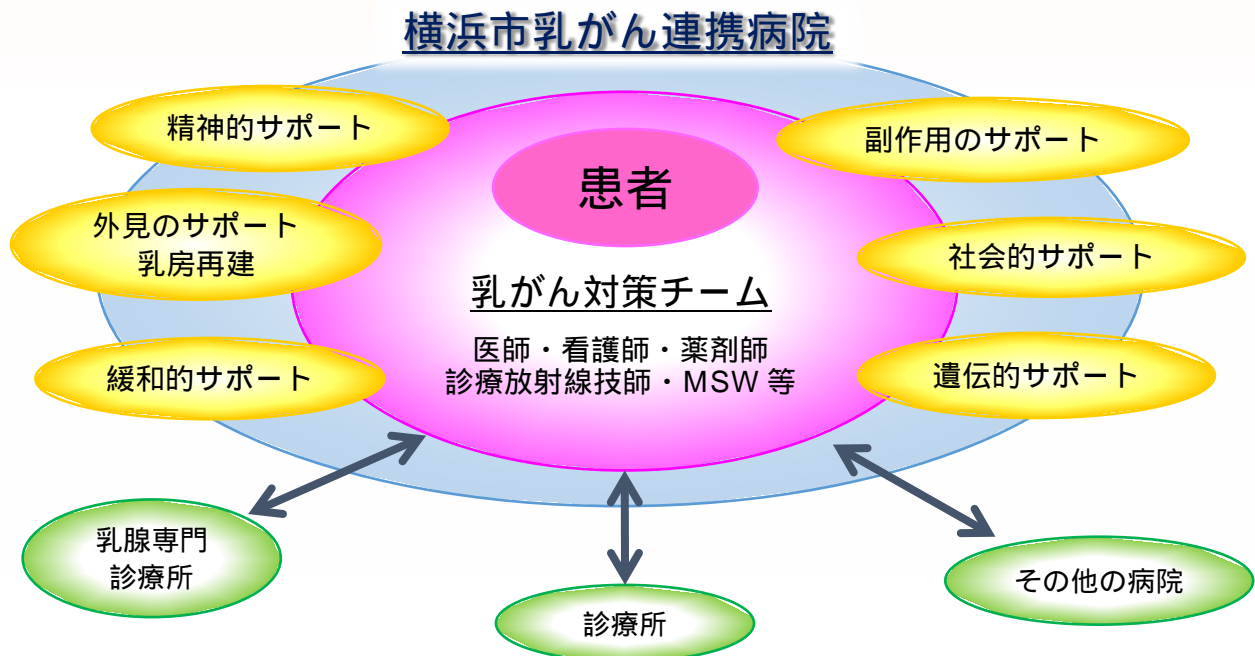
そのためには、精神的・社会的ストレスに対するメンタルケアや、脱毛や爪変形に対する外見（アピアランス）ケアなどの患者支援が必要不可欠です。

患者さんが安心して確実に治療を受けるためには、医師、看護師、薬剤師など**様々な専門職が連携**し、患者さんの**治療（生活）環境を整えていく**必要があります。

横浜市乳がん連携病院では、乳がん患者さんを**包括的に支援する「人を見る医療」**をめざし、日々の診療に取り組んでいます。

また、横浜市乳がん連携病院は、地域医療機関と役割分担をしながら、乳がん検診や内服治療などの利便性を向上するとともに、診療に携わる医療者の人材育成や最新治療・患者支援に関する市民向け啓発にも取り組んでいます。

### 横浜市乳がん連携病院 体系イメージ



#### お問合せ先

医療局がん・疾病対策課長	古賀 美弥子	Tel 045-671-2957
市民病院がんセンター担当課長	藤井 裕久	Tel 045-331-1961